

のき 議うご

上島町議会

平成19年

第4回定例会

平成19年上島町議会第4回定例会が12月25日に招集され、「上島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」など17議案が審議され、可決されました。

この日の本会議では、はじめに上村町長から諸般の行政報告があり、一般質問の後、17議案が審議され、第4回定例会は閉会しました。

なお、上村町長の諸般の行政報告及び各議案の主な内容、議決結果は次のとおりです。

上村町長

諸般の行政報告

瀬戸内の穏やかな海を、さらに静かに見せる海苔網が、島々の段々畑のように冬の豊かさを育む時候になりました。

本日は平成19年第4回の定例議会を招集いたしましたところ、全員の出席をいただきましたこと、誠にありがとうございます。

さて、10月には上島町各地において地域の特色が溢れ、先人からの伝統を大切に受け継いだ秋祭りや文化

祭などが開催され、改めて「我がふるさと」の底力と新たな可能性を含む豊かな風土を体感いたしました。

9月29日の「上島音楽祭」においては、岩城島で各地域の伝統芸能や校歌などが披露されました。島をわたり一堂に介したのは長い歴史上初めてであり、地元の人しか見たことのない様々な彩りに、先人たちの声が聞こえてきたような気がしました。

午後からは石垣島出身のグループ「BEGIN」のコンサートで、「島」の温かさや歌の楽しさに心を動かされましたが、何よりもこの音楽祭実行委員会のスタッフに対し感謝の言葉と共にリクエストに応え、島の宝を教えてくださいました「島人」に敬意を表したいと思います。

10月5日には四国総合通信局において担当職員と、地上デジタル・情報通信・CATVについて、同様に16日には議長及び副議長と共に総務省や財務省に対して協議と陳情を行いました。これは、情報通信の高度化並びに2011年にテレビ電波がデジタル化することへの対応策であり、上島町においては来年4月までに方針を決定する計画で進めています。

10月10日から11日にかけて全国離島振興協議会が広島県大崎上島町で開催され「平成20年度離島振興関係事業予算の確保対策について」が承認されました。これは、平成20年度の国家予算編成にあたり、離島振興関係事業予算概算要求額を全額確保

するため、離島振興対策協議会（離島関係都道府県）と全国離島振興協議会が連名で11月1日と28日に離島関係衆・参国會議員並びに関係省庁に対し要望した案であり、12月20日に政府予算原案が内示された後、離島振興対策協議会と合同で、「離島振興予算対策本部」を設置し、平成20年度の離島振興関係事業予算の獲得運動を実行しました。結果として厳しい国家予算の中、離島航路補正予算が昨年の倍額に内示されたことなどが、この運動の成果と考えています。

10月15日には、弓削商船から落合校長先生をはじめ生徒の皆さんが来庁され、コンピュータプログラムコンテスト2部門での文部科学大臣賞最優秀受賞という驚くべき報告をいただきました。この快挙は弓削商船のレベルの高さを示すものであり、受賞された生徒の皆さんに改めて心からお祝いを申し上げ、弓削商船の伝統の重さと継承の大切さを痛感いたしました。

昨年8月3日に開催された知事陳情は10月19日となり、上島町から「造船振興計画の推進について」「県道岩城循環線整備の促進について」「立石港周辺整備の推進について」また旧町村4地域からそれぞれ陳情を行いました。その回答については冒頭で申し上げたように、すでに文書で職員並びに議会にも伝えておりますが、知事からの地方に目の行き届

いた温かい回答と共に、上島町として愛媛県側に全てを委ねるのではなく、地域が意思統一を行い真に必要な要望として今までは違う働きかけをしていかなければならない現実も再認識いたしました。

11月2日には愛媛県から「瀬越地区」の埋め立て免許が下り、産業振興策における2箇所目の造船振興用地として、雇用の増加にも寄与することになりました。現在3箇所目の造船振興用地の計画が進行中でありますので、上島町の経済を牽引する重要施策として、今後も町民の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰いだ11月20日の地方自治法施行60周年記念式典において、上島町は愛媛県で唯一の町として「地方自治功労者総務大臣表彰」を受賞いたしました。これは、地方自治行政の運営に創意工夫し住民の福祉増進に多大な力を尽くすと共に、優れた施策を実施し地方自治の充実発展に寄与した市町村に与えられるものです。この場をお借りして、施策として予算承認をいただいた議会や、町民の皆様から感謝を申し上げます。

12月1日には、サッカーJ2愛媛FCの最終戦に上島町マツタウンとして参加し、試合会場周りの地元特産品販売などで上島町をアピールしてまいりました。ハーフタイムに5000人を超える観客の前で披露した岩城海原地区の「獅子舞」は、

軽快な人の動きと獅子の優雅さ、そして何より縁起の良さで湘南ベルマーレに1点リードされていた試合を後半一気に愛媛FCの逆転勝利へと導きました。

10月から12月を中心に、20年度の重要施策の議決や予算獲得の為に、京し、政府や国会議員あるいは各省庁に対して決議や予算案を携えて、要望活動を行いました。三位一体改革により税源移譲額が補助金削減額を上回ったのは都市部の12都県にとどまったように、今後は地域間格差や税収格差は正が必須であり、政府は「地域活性化本部」を新設するなど地方を重視する方向を示していますが、「地方交付税」「交付税特別枠」「地方再生・活性化対策費」「法人二税」「地方法人特別譲与税」「地方消費税」「道路特定財源」「ふるさと納税」「頑張る地方応援プログラム」等々、懸案は山積しております。具体的要望活動の内容や経過報告については参考資料や上島町HP、定例議会等で今後も報告させていただきます。

12月11日から14日まで、魚島に縁のある韓国の巨済島を訪問し、本年5月に来町された愛光園をはじめ巨済市の皆さんから温かい歓迎を受けました。愛光園内にある施設に宿泊し「オンドル」をはじめ体験、愛光園体育館で開催された55周年記念式典で、障害を持った子供達を含む約500名のお客様の前での通訳を交えた挨拶

は貴重な体験になりました。

魚島の先人が約120年前から昭和20年まで集落を構えていた旧助羅(小魚島村)や知世浦地区への訪問、巨済市役所での会議や大宇造船所での研修など実り多き交流になりました。

結びに、10月から12月にかけて「まちづくり懇談会」を開催し、各地域で「町民の生の声」を聞かせていただきました。要望や意見、質問等に対してはその場で答えられることはお伝えいたしました。即答できなかった事項に関しては文書により後日回答致します。

その中で町民の皆さんが大きな関心を持たれ、ほとんどの地区で共通意見としてお聞きしたのは、上島町の議員定数と選挙区のことでした。「町長は議員の定数を減らす義務があるのではないか、4つの選挙区制維持はいつまでたっても上島町が一つにはならず約束違反ではないか」という内容です。

この件は議会側が配慮することであるので答弁に困りましたが、まちづくり懇談会の趣旨は「今後の上島町行政運営に反映する」ことであるので、私の義務として上島町民の声をこの場でお伝えします。

合併時に選挙区制を設けていた西予市は、来年の市議会議員選挙において、合併協定書の約束通り選挙区制を廃止する条例を可決し、西条市は議会行政改革調査特別委員会において選挙区制の廃止と定数の削減を決定いたし

ました。選挙区制は地方自治法あるいは公職選挙法上も適切ではなく、合併当初の選挙区制設置の目的はすでに果たされていること、そして何よりも先輩方が汗を流し苦労の末に調印までこぎつけた合併協定書を遵守する義務が議会側にもあります。合併協定書を守らなくても法律上問題ないという考え方は、常識の積み重ねである法律のコンプライアンスを否定し、非常識を肯定することになります。

選挙区制を今まで通りに維持するという根拠が「町民の意思を広く吸い上げる」ことであるのなら、今後議会自らが直接町民の声を聞く機会を設けるべきではないでしょうか。

この場をお借りし、町村合併の意義と民意の重要性について、町民を代表する町長として、議会側に「まちづくり懇談会」からの問いかけに對し、誠意ある回答をお願い申し上げます。

各議案の主な内容及び議決結果

条例議案

■上島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に伴い扶養手当、勤勉手当及び給料表について国に準じた見直しをするもの。

— 原案可決 —

■上島町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険事業の適正な運営を図るため、関係規定を改正するもの。

— 原案可決 —

■上島町分担金徴収条例の一部を改正する条例

分担金徴収にかかる利率等を改定する必要があるもの。

— 原案可決 —

■上島町立学校設置条例の一部を改正する条例

平成20年4月1日の弓削中学校と生名中学校の学校統合に伴い、関係規定を整備する必要があるもの。

— 原案可決 —

補正予算議案

■平成19年度上島町一般会計・特別会計(8会計)補正予算《全9議案》

■一般会計

【補正額】 1億1370万円

【総額】 74億4580万円

■特別会計(8会計)

国民健康保険	補正額	100万円
	総額	11億9540万円
診療所	補正額	270万円
	総額	6460万円
共道水	補正額	3000万円
	総額	6億4800万円
CATV	補正額	430万円
	総額	8320万円

可決

路線番号	路線名	起 点	終 点
503	明神 海岸線	上島町弓削明神 310番1地先	上島町弓削下弓削 1029番地先
631	岳ノ下 11号線	上島町弓削下弓削 121番1地先	上島町弓削下弓削 118番地先
93	恵生 5号線	上島町生名3789番	上島町生名3789番

■上島町道路線の廃止について
町道の交通網整備上必要が生じたもの。

その他議案

原案可決

介護保険	補正額	10万円
	総 額	6億1340万円
介護サービス	補正額	90万円
	総 額	6710万円
船 舶	補正額	3100万円
	総 額	2億5230万円
特別養護老人ホーム	補正額	400万円
	総 額	2億3170万円

不採択

■「後期高齢者医療制度」の中止・撤回の意見書採択を求める請願

不採択

■最低保障年金制度の創設をはじめ年金制度の改善を求める請願

撤回

■上島町議会議員等報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例

適任

【生年月日】昭和19年7月18日

【氏名】横井 義弘
上島町魚島1番耕地148番地2

【住所】

【生年月日】昭和13年12月10日

【氏名】田中 基賀
上島町生名646番地

【住所】

■人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

可決

路線番号	109
路線名	久保の谷前 新開線
起 点	上島町生名 794番1地先
終 点	上島町生名 638番地先
重要な経過地	

■上島町道路線の認定について
県道横浜生名線の改築（バイパス）工事に伴い生じる旧道部分が上島町に移管されるため、町道として認定を行う必要が生じたもの。

新しい民生児童委員が決まりました！

上島町の新たな民生児童委員として、次の29名（うち主任児童委員3名）の方々が厚生労働大臣から委嘱されました。任期は平成19年12月1日から平成22年11月30日までの3年間となっています。

地区	民生児童委員	担 当 地 区
弓削	笹田 朔二	久司浦・沢津
	田房 早苗	上弓削
	岡 文子	緑ヶ丘
	八原 敬子	引野・明神
	西部 和枝	岳ノ下・豊島
	梅林 勇蔵	中都
	中 美幸	浜都・日比・狩尾・大谷
	森本 恵子	太田・土生・鎌田
	加登まゆみ	佐島（1・3・4・5・6組）
	田中加代子	佐島（2・7・8・9組）
生名	光法 健	主任児童委員（弓削地区全域）
	池本 安子	第1分団
	宮本 幸生	第2分団
	山本 晃志	第3分団
	村上美佐子	第4分団
	津國 秀秋	第4分団
	村上 嘉子	第5分団
	森本 和恵	第6分団
	村上優美子	主任児童委員（生名地区全域）

地区	民生児童委員	担 当 地 区
岩城	加納 清二	海原・船越
	金本 鎮雄	東
	百瀬 嘉子	西
	井上 尚	高原・大谷・新地
	春元 達雄	谷・浜
	佐伯 祥子	西部・赤石
	村上 良一	小漕・長江
	澤田 明美	主任児童委員（岩城地区全域）
魚島	森山 月美	因幡・春日・東・新川・西
	穴蔵ヒサエ	えびす・井ノ浦・大木・高井神

民生児童委員の活動

民生児童委員は、地域に密着して活動し、高齢の人や障害のある人、生活に困っている人、子育て中の親子などの相談を受け、必要に応じて、福祉制度の紹介や助言、援助を行います。

主任児童委員の活動

児童に関する問題を担当し、児童虐待や子育ての悩みの相談をお受けしています。学校や児童相談所と連携して、児童が健全に育つ環境づくりのために活動し、区域担当の民生児童委員と連携をとりながら、様々な啓発や子育て支援のために活動します。